

令和元年度 授業改善推進プラン

1 区学力調査、児童・生徒の学力向上を図るための調査の結果を踏まえた課題

|    |  |
|----|--|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「漢字を書く」技能の定着率に各学年で差異がある。</li> <li>・「書くこと」「言葉についての知識理解技能」について、課題がある学年が多い。</li> </ul>  |
| 社会 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・観点別正答率において、区の平均を下回っている。</li> <li>・問題解決的な学習過程が定着していない。</li> <li>・学年が上がるにつれ、社会的事象への関心・意欲・態度が低下している。</li> </ul>                                       |
| 算数 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・領域別、観点別正答率は、すべて区の平均を下回っている。</li> <li>・単位換算が苦手であり、基本的な知識の定義・理解が不十分である。</li> <li>・児童の学力差が大きく、最後の問題までたどりつかない児童もいる。</li> </ul>                         |
| 理科 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然現象への興味・関心・態度の項目で、区の平均を大きく下回っている。</li> <li>・問題解決に必要な思考力・判断力・表現力を支える、基本的な知識理解が不十分である。</li> <li>・科学的な問題解決を行うために必要な観察・実験等の基本的な技能が定着していない。</li> </ul> |

2 各教科の具体的な授業改善

|    | 育成を目指す資質・能力  | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫   |
|----|--|--|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の読み書きの確かな定着。</li> <li>・目的意識をもって、書くこと。</li> <li>・「言葉の学習」の理解を深める。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎基本の時間に漢字のミニテスト等を各クラスで積極的に行い、結果により個人指導を続けていく。</li> <li>・日常的に自分の考えを書く機会を設け、その際に既習の漢字を使うことを徹底する。</li> <li>・読む相手や書く目的を具体的に設定したり、時数や要約など条件を課したりして、目的に応じて、自分の考えを書いたり編集したりすることを大切にする。</li> <li>・国語だけでなく他教科でも日常的に辞書を活用し、語彙力を高める。</li> <li>・基礎基本の時間や家庭学習などで、東京ベーシックドリルを活用し反復練習を行うことで、言葉の学習の理解を深める。</li> </ul> |

|    | 育成を目指す資質・能力  | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫  |
|----|--|---|
| 社会 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会生活についての総合的な理解。</li> <li>・社会的事象の見方・考え方に沿って読み取る技能。</li> <li>・社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力。</li> <li>・よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業や小単元の終わりに、授業のポイントや大切な語句を確認し、知識の定着を図る。</li> <li>・問題解決的な学習の流れで授業を行う。特に、調べる学習段階では、社会的事象の見方・考え方の視点を伝え、その視点に基づいて資料を読み取る学習を進める。</li> <li>・ペアやグループで考えを交流する時間を授業で設定し、複数の考えや視点を得られるようにする。</li> <li>・高学年では、新聞やニュースから時事問題を取り上げ、授業以外でも社会的事象に触れる機会を設ける。</li> </ul> |

|    |   |   |
|----|---|---|
| 算数 | 育成を目指す資質・能力   | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫  |
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数学的活動を通して、数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質を理解する。</li> <li>・ 問題を自立的、協働的に解決する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身近な具体物などを通して、数量などを実感しながら捉えられるようにしていく。</li> <li>・ 単位換算等プリントで反復学習をしていく。</li> <li>・ 自分の考え、集団の考えを広げ深める「対話的な学び」を多く取り入れていく。</li> </ul> |

|    |   |   |
|----|---|---|
| 理科 | 育成を目指す資質・能力   | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫  |
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然現象に対する基本的な概念や性質、規則性の理解。</li> <li>・ 意欲的に自然の事物・現象に関わろうとする態度。</li> <li>・ 他者と関わりながら、粘り強く問題解決する態度。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プリント学習で、既習事項の定着を図る。</li> <li>・ 身の回りの事象に着目させ、科学や自然に触れる機会をより増やしていく。</li> <li>・ 問題解決的な学習過程に繰り返し取り組む。その際、話し合いの活動を多く取り入れる。</li> <li>・ ノートの記録の仕方等、基本的な技能の指導を充実する。</li> </ul> |

|    |  |  |
|----|--|--|
| 生活 | 育成を目指す資質・能力  | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫   |
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分自身や身近な人々、社会及び自然の良さに対する理解。</li> <li>・ 自分と社会や身近な人々との関わりについて考え表現する。</li> <li>・ 社会や自然に自ら働きかけ、学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友達や地域の人々との関わりに重点をおいた活動を取り入れる。</li> <li>・ 互いの気付きや思いを表現し合う活動を意図的に計画し書いたり読んだりする力や伝え合う力を伸ばす。</li> <li>・ 地域の特色を生かした教材開発と年間指導計画の作成を年度末までに作成する。</li> </ul> |

|    |  |   |
|----|--|---|
| 音楽 | 育成を目指す資質・能力  | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫  |
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歌唱の活動を通して、呼吸及び発音の仕方に気を付けて自然で無理のない響きのある歌い方で歌う技能。</li> <li>・ 音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今月の歌を設定し、毎月行う音楽朝会で全校児童で歌唱発表をし、歌う意欲を高める。</li> <li>・ ペアで歌い方や歌声を確認させ、曲想に合った歌い方を主体的に探っていけるよう取り組ませる。</li> <li>・ リコーダーや鍵盤ハーモニカを中心として、器楽の基礎的基本的な奏法を確実に身に付けさせる。</li> <li>・ 実態に即した教材選定をし、器楽活動への意欲を高める。</li> </ul> |

|    |   |   |
|----|---|---|
| 図工 | 育成を目指す資質・能力   | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫  |
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 造形的な特徴の理解及び材料や用具を活用して表す技能。</li> <li>・ 自分の見方や感じ方を深め、創造的に発想や構想をする力。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発達段階に応じた適切な指導計画のもと、個に応じた指導を充実させ、常に安全に配慮して指導を行う。</li> <li>・ 対話を通してお互いの作品のよさを伝え認め合う活動を取り入れたり、課題に合わせて資料や情報を豊富に用意したりする。</li> </ul> |

|  |   |   |
|--|---|---|
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に形や色などに関わり、豊かな生活を創造しようとする態度。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>児童の興味関心をひく題材に取り組むとともに、友達同士で助け合える雰囲気作りに配慮する。</li> </ul> |
|--|---|---|

|    |   |  |
|----|---|--|
| 家庭 | <p>育成を目指す資質・能力</p>  | <p>資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫</p>  |
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活に必要な基礎的な理解とそれに係る技能を身に付けること。</li> <li>家庭生活を大切にする心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>裁縫や調理実習の実習的活動を通して、基礎的な理解と技能を確実に身に付けるようにする。</li> <li>グループ作業では、仕事内容と役割分担を明確にし、各自が責任をもって、最後までやり通すよう指導していく。</li> <li>学習したことを家庭で実践できるような機会を意図的に設ける。</li> </ul> |

|    |  |  |
|----|--|--|
| 体育 | <p>育成を目指す資質・能力</p>   | <p>資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫</p>  |
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に運動に取り組む態度。</li> <li>課題に向けて協力して、学ぶ態度。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>「できる」という経験を増やす。そのために、「する」の視点だけでできたことを評価するのではなく、「みる・支える・知る」の観点でも評価して、運動に積極的に関わる態度を育てる。</li> <li>対話的な学習活動を増やし、仲間と協力して課題を解決することができるよう授業を工夫する。</li> </ul> |

|    |  |   |
|----|--|---|
| 国際 | <p>育成を目指す資質・能力</p>   | <p>資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫</p>   |
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>言語やその背景にある文化に対する理解。</li> <li>相手に配慮しながら、主体的にコミュニケーションをとろうとする態度。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>学年に応じて、日本と外国の文化の共通点や相違点を見付ける活動を行う。(アクティビティなど)</li> <li>児童が学習の見通しをもって学習に向き合うことができるように教師が予習をする。</li> <li>コミュニケーションが苦手な児童には教師が支援できるよう配慮する。</li> </ul> |

|    |   |  |
|----|---|--|
| 道徳 | <p>育成を目指す資質・能力</p>  | <p>資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫</p>  |
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>道徳的諸価値についての理解。</li> <li>自己を見つめ、物事を多面的に考え、自己の生き方についての考えを深める力。</li> <li>道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>教師が道徳的価値について深く吟味し、より価値理解が深まるような中心発問を立てる。</li> <li>授業の時間配分を考え、児童が考える時間や発言する時間を確保する。また、話し合いやロールプレイングを取り入れるなどして考えを深められるよう活動内容を工夫する。</li> <li>日常生活の場面などを題材に取り入れ、児童が自分事として物事を考えられるよう授業を組み立てる。</li> </ul> |

|      |  |  |
|------|--|--|
| 特別活動 | 育成を目指す資質・能力  | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫   |
|      | <ul style="list-style-type: none"> <li>多様な他者と協働する意義を理解し、行動の仕方を身に付ける。</li> <li>集団や自己の課題を見だし解決するために話し合うことができる。</li> <li>自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の仕事や役割に自信や責任をもって取り組むことができるよう、教師が適切な声かけをする。</li> <li>学級会などの話し合いのもち方を確認し、共通理解を図れる部分を見付け、校内に広めていく。</li> <li>様々な見識が深められるよう、道徳や学級活動を中心に、教科横断的にキャリア教育を進めていく。</li> </ul> |

|           |   |  |
|-----------|---|--|
| 総合的な学習の時間 | 育成を目指す資質・能力   | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫   |
|           | <ul style="list-style-type: none"> <li>自ら課題を設定する力。</li> <li>多様なツールを用いて情報を収集する力。</li> <li>集めた多くの情報から必要な情報を精査し、まとめ・表現する力。</li> <li>ローマ字入力を含め、パソコン及びタブレットPCを活用する技能。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>「課題設定」→「課題解決のための方法選択」→「課題探究」→「課題解決」→「まとめ（表現作業・活動）」→「考察（自身の活動について分析・精査）」→「新たな課題の発見、設定」というような問題解決的な学習・活動の手順を提示し、児童に見通しをもたせてから活動に取り組ませる。</li> <li>3年生からパソコンやタブレットPCを扱う学習活動を取り入れていく。</li> </ul> |